３年生が、出前授業、

「身近なところにトラブルの元がいっぱい」

をテーマに、“いじめ”防止の授業を受けました。

１月 25 日、月曜日、２時間目に３年３組が、３時間目に３年１組が、４時間目に３年２組の児童たちが、ゲストティーチャーを外部［大阪弁護士会］からお一人お招きし、いじめ防止に関わる出前授業を受けました。この授業は１学期当初から申し込んでおり、10月に行われた４年生に続きようやく本日実現しました。

授業の内容は、以下の通りでした。

① まず、弁護士さんの自己紹介がありました。自己紹介の中で弁護士の仕事の内容を児童に分かりやく説明されていました。→児童は、とっても興味深く聞いていました。
② 次に、「これって犯罪？・いじめ？　あなたならどうしますか？」という、クイズ形式での問題をいくつか児童に出されました。→答えとして、弁護士さんも学校と同様、いじめかどうかは、した側ではなく、された側の気持ちで決まると、児童に丁寧に説明、理解を促しておられました。
③ ４５分間を通して、今日の出前授業で一番、弁護士さんが強調して児童に伝えておられたのは、「いじめの防止・解決で一番大切なのは、周りのみんなが動くこと」とおっしゃっていたことです。とても印象に残りました。

●どの学級も児童たちが弁護士さんのお話に真剣に聞き入っていました。授業中には、児童が黒板の前に出て、役割演技（ロールプレイング）も行われました。今日、教わったことが、皆の心に響き、実践・行動つながることを切に願います。